

現行の水道料金体系

用途別水道料金表

(料金は税込み)

用途	基本料金(一律料金)		超過料金 1m ³ につき(円)	参 考 20m ³ 料金
	水量(m ³)	料金(円)		
家庭用	5	792	198	3,762
営業用	5	1254	308	5,874
団体用	10	2090	242	4,510
浴場営業用	100	14,300	176	14,300
工業用	50	14,300	286	14,300
臨時用	1	440	440	8,800

口径別メーター使用料

(料金は税込み)

メーター口径	13mm	20mm	25mm	30mm	40mm	50mm	75mm	100mm
料 金	99	121	143	209	231	759	847	1,188

利 点

- ・様々な用途、使用水量に沿った金額が算出できる。

問題点

- ・使用実態が複雑化し、現行の用途区分では判別しにくくなっている。
- ・同じ口径、水量でも用途が違うだけで金額に差がある。
- ・基本水量の設定により、全く使用していない方と5m³までの使用をした方の料金が同じになるため、公平な料金請求にならない場合がある。

口径別の料金表の例(基本水量を一律1m³とする)

●基本料金	13mm	20mm	25mm	30mm	40mm	50mm	75mm	100mm
基本料金	764	1,657	2,546	3,766	6,778	11,230	26,849	49,936

●超過料金(一律)	1m ³ あたり
超過料金	208

利点

- ・用途区分が無くなったため、口径ごとの料金に差が無い。
- ・基本水量を一律にすることで口径別での差が無い。
- ・基本水量を1m³としたことで、水量が少ない人の金額を低く抑えることができる。